

第1回下鎌田地域小学校統合に向けた 合同会議 議事録（要旨）

【日 時】 令和2年11月25日（水）18時30分～19時40分

【場 所】 下鎌田西小学校 西っ子ホール

【主な内容】

1 統合スケジュール（案）について

- ・令和2年度から令和7年度の改築スケジュール案について説明。
- ・合同会議で検討していく諸課題である「通学区域」、「統合校の校名」、「学用品」、「校歌」、「校章」は令和2年度中に一定の方針を固めていきたい。
- ・令和3年度から「統合準備委員会」を設け、実務的な協議を学校・PTAの皆様を中心に検討予定である。

2 統合に係る諸課題（案）について

- ・今後検討していく課題の一覧について説明。
- ・課題一覧表で進捗状況を管理し、順次更新していく。
- ・諸課題については優先順位をつけながら検討を進めていく。

3 通学区域（案）について

- ・春江3丁目14～25の通学区域を瑞江小とする案と春江3丁目14～25の通学区域を統合校とする案を提示。

【主な意見と回答】

1 統合について

- ・校舎の老朽化に伴う改築は分かるが、統合に関してはコロナ禍で密を避けるようにしている中で、わざわざ学級規模を大きくする必要がないのではないかという意見を耳にする。
- ・統合に向けて両校で話していく中で、両校の思いが強くなるとなかなか決めきれないことも出てくると思うので、もう少しスケジュールにゆとりを持たないか。
- ・提示されたスケジュール通りに行くのであれば、時間的余裕はないので、両校とも統合をするというまとまった気持ちを持ち、今まで通り子どもたちが学校生活を送れるよう、地域の皆さまに引き続き愛していただけのような学校名や通学区域、学校行事になればいいと思っている。
統合に対してマイナス面が残っているようであれば、「統合時にこんな対応するから問題ない」と言えるように、大きな問題を残さずに進んでいけたらいいのではないか。
- ・設計中は校庭の利用は可能か。
今のところ令和4年度の仮設校舎建設まで校庭に手を加えることはしない予定である。[事務局]

- ・保護者からは統合後の通学路や大規模化、下鎌田小敷地の後利用についても気になっている。
- ・設計プロポーザルの説明が不足している。
 プロポーザルは設計業者から出てきた提案(設計図面)をもとに、設計業者を決めるものである。提案内容の実現可能性や子ども目線・先生目線で考えながら審査を行い、1社を選定する。合同会議にご出席のメンバーから直接意見していただく場面はないが、その前段の基本構想・基本計画策定の際に皆様から意見をいただき、できる限り設計に反映していきたい。[事務局]
- ・老朽化した下鎌田小を仮校舎として使えるのか。
 建築基準法に基づいて法定点検を行っている。また、学校施設課には日々の営繕を行っており、学校の修繕をしつつ、改修の必要があれば行っていく。[事務局]
- ・検討事項に優先順位をつけて進めていった方がいい。
- ・令和5年の統合に向けて、子どもたちが一緒になることが楽しみになるようしないといけない。その中でどちらかの学校に負担感があるのは良くない。できる限り早く下鎌田小学校と下鎌田西小学校で話し合いながら、違和感なく令和5年度を迎えられるように進めていければと思う。
- ・現在、職員室や給食室は狭いが、その改修の時期を早めに明確にしてほしい。
- ・2校を統合するとこんなにかいことがある、こんな楽しい未来が待っている、ポジティブで希望に満ちた話を子どもたちや保護者にしたい。どちらかに吸収というわけではなく、両校で協力して新しい学校を造っていくという考えで進めていきたい。
- ・学用品は早めに決めていく必要がある。

2 通学区域について

- ・中学校の通学区域との重なりはどうか。
 現時点では、今回の通学区域の変更に伴って瑞江中の通学区域変更の予定はないが、児童・生徒の要望や学校の適正規模、収容可能人数等にもつながってくるので随時検討を進めていきたい。
 春江3丁目から瑞江小までは直線距離で1km、道のりで1.1km~1.2km程度だが、それが瑞江中学校までとなるとさらに距離が伸びてしまう。児童・生徒の負担も考えながら検討を進めていきたい。江戸川区では学校選択制を行っているので、受け入れが可能であれば同じ学校に行くこともでき、その段階で受け入れが出来なければ通学区域変更を検討する必要がある。[事務局]
- ・下鎌田東小学校など周辺校の通学区域も含めて考える余地はあるのか。
 瑞江小の児童数の減少傾向が顕著なので、この統合のタイミングで瑞江小の通学区域についても考えたい。現状として下鎌田東小学校を含めた通学区域の変更は考えていない。[事務局]

- ・瑞江小の児童数が減っているから下鎌田地域から移ってもらうというのは違うのではないか。
学校の児童数の減少が顕著になった際、周辺のエリアの学区域変更を行うことで解消し、単学級のような極端に児童数の少ない学校を防ぐ必要がある。[事務局]
- ・下鎌田小と下鎌田西小の話し合いの場で瑞江小の児童数減少は関係ないのではないか。
確かに下鎌田小と下鎌田西小とは直接的な関係はないかもしれないが、よりよい形で学校運営をしていくには随時考えなければならないため、学校統合のタイミングに合わせて通学区域変更を検討していきたい。[事務局]
- ・現状の通学区域ではいけないのか。
瑞江小の児童数の減少、統合校とのバランス含めて考えると通学区域変更は考えていく必要がある。[事務局]
- ・通学区域の変更となる場所に何かしらの対策をしないとみんな統合校へ行ってしまう。
近隣の瑞江小のこともあわせて検討し、提示したい。[事務局]

以上